

タカバクロヒラタゴミムシ コウチュウ目オサムシ科

Platynus takabai (Habu)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由 日本における産地は2県に限られ、得られた個体数が少ない。

形態 体長15mm程度で、黒色で平たい体形をしている。頭部と前胸背板に光沢があり、頭頂に赤い斑紋を有する。

国内分布 石川県と島根県からのみ発見されているが、記録の大部分は石川県である。

県内分布 現在のところ金沢市と津幡町の低山地だけに分布していて、金沢市では生息地が多い。

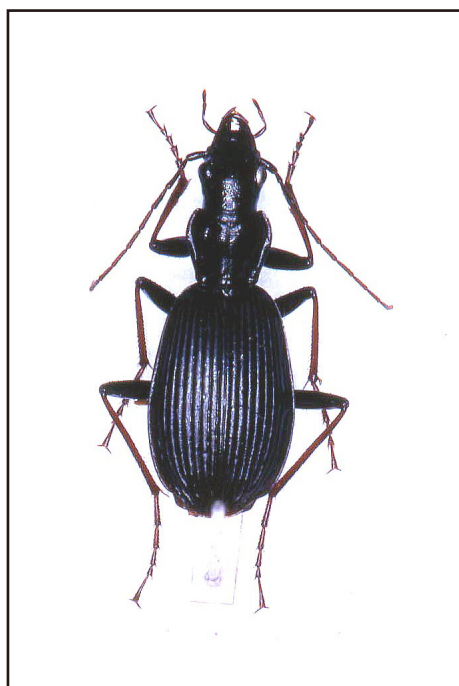
生態 成虫は湿地、休耕田、池の縁に生息していて、草の上や低木上で活動する。特に、秋にミゾソバの葉上で複数の個体が見られた。岩や土の割れ目、朽ち木で成虫越冬する。

生息地の条件 不明。

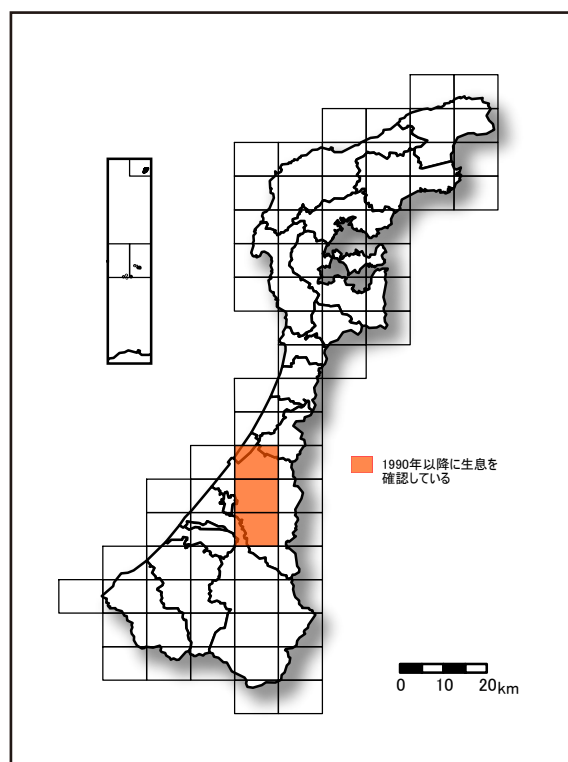
生存の危機 不明。(A)

参考文献 金沢市卯辰山で得られた1♂に基づき、記載された種である。

参考文献 Habu, A. 1962. Two new Agonum species from Japan (Coleoptera, Carabidae). *Kontyu*, 30 (3) : 169-174.



標本提供者：高羽正治



県内の分布